

新居浜市地球温暖化対策地域計画策定委員会議録（第1回）

日 時：平成24年7月6日（金）13：30～15：30

場 所：市役所3階 応接会議室

出席者（敬称略）：にいほま環境市民会議（真鍋）、新居浜市食生活改善推進協議会（秦）、
温暖化を止める会新居浜（河合）、新居浜建設業協同組合（飯尾）、四国電力（株）
新居浜支店（石川）、新居浜市公民館連絡協議会（真鍋）、市民公募（永易）、
住友化学（株）愛媛工場（山崎）、住友金属鉱山（株）別子事業所（赤田）

欠席者：新居浜市PTA連合会、新居浜市女性連合協議会、新居浜市農業協同組合、新
居浜市連合婦人会

傍聴人数：なし

事務局：曾我、小松、河端、青野、高橋、吉岡

小松課長

定刻が参りましたので、第1回目の新居浜市地球温暖化対策地域計画策定委員会を開会いたします。委員の皆様には、平日という、お忙しい時間帯にお集まりいただき、誠にありがとうございました。

私は、環境保全課課長の小松です。どうかよろしくお願いたします。本日は、宮本委員さん、野村委員さん、鈴木委員さん、續木委員さんからご欠席の連絡をいただいております。

また、今回の議事につきましては、策定委員会の委員長等役員が決定しておりませんので、役員等が決定するまでの間、事務局で進行させていただきます。誠に申し訳ございませんが、座って進行させていただきます。

会議は、原則公開となっておりますことから、議事録等の公開が生じてまいりますので、あらかじめ委員の皆様にご了承いただきたいと思います。

また、お手元に委員の委嘱状を置かせていただきました。平成25年3月末までの任期の間、皆様には大変お世話になります。よろしくお願いたします。

それでは、開会にあたりまして、環境部長よりあいさつを申し上げます。

<曾我環境部長よりあいさつ>

ありがとうございました。それでは、本日の会議で使用する資料を確認させていただきます。

【 配布資料確認 】

それでは、お手元にお配りしております会次第に従いまして、会議を進めたいと思います。

今回、初めての会議ですので、委員の皆様にご自己紹介していただきたいと思います。簡単に、所属とお名前を眞鍋昌裕委員より時計まわりでお願いいたします。

<委員より自己紹介>

小松課長

ありがとうございました。続きまして、事務局職員及び今業務の策定に携わっているコンサルタントの紹介をさせていただきます。

<事務局及びコンサルタントより自己紹介>

小松課長

それでは、次に、地球温暖化対策地域計画の概要について、事務局から説明をさせていただきます。

<事務局より概要説明>

小松課長

ただいまの説明について、ご質問等ございませんでしょうか。

眞鍋委員

資料2の「対象とする温室効果ガス」について、稲作がメタンの発生源として捉えられているのはどうしてでしょうか。

事務局

地球温暖化対策地方公共団体実行計画策定マニュアルにおいて、稲作や家畜の反すうによりメタンが発生するとされている。

永易委員

水田においては、水を張ることで水底が嫌気性になるため、土壌よりメタンが発生します。

小松課長

次に、要綱第5条に委員長・副委員長の規定がございますので、これから役員の選出を行いたいと思います。委員長・副委員長は、委員の互選により定めるとありますが、どなたか、ご推薦等ございますでしょうか。

【委員より事務局案の提示について提案あり】

小松課長

役員が決定しない場合を考え、事務局において役員案を検討しておりますので、そ

の案を提示させていただいてもよろしいでしょうか。

< 了 承 >

それでは、事務局案を提示させていただきます。委員長には、にいはま環境市民会議のアドバイザーでもあり、新居浜高専の名誉教授をされている眞鍋委員さんをお願いできればと考えております。副委員長には、お二人を考えており、新居浜市食生活改善推進協議会長であり、地球高温化対策地域協議会において、マイバッグ推進キャンペーンやエコクッキングでご尽力をいただいている秦委員さん、温暖化を止める会新居浜の会員であり、環境省のエコアクション21の審査員をされている河合委員さんをお願いできたらと考えております。

以上の役員案にご賛同いただける委員は、挙手をお願いいたします。

< 挙手多数 >

ありがとうございました。委員の皆さんにご賛同いただけたようですので、委員長には眞鍋委員さん、副委員長には、秦委員さん、河合委員さんをお願いしたいと思います。

それでは、眞鍋委員長、秦副委員長、河合副委員長は、委員長席・副委員長席へお着きください。

【席の移動】

それでは、役員に選出された委員を代表して、眞鍋委員長に一言ご挨拶をお願いできたらと思います。眞鍋委員長、よろしく申し上げます。

< 眞鍋委員長より挨拶 >

小松課長

ありがとうございました。それでは、ここからは委員長に議事を進行していただきますので、眞鍋委員長よろしく申し上げます。

眞鍋委員長

それでは、この計画の具体的な進め方や内容について説明をお願いします。

< コンサルタントより計画について説明 >

眞鍋委員長

さきほどの説明について、何かご質問はありますか。

石川委員

資料3の1ページの(3)において推計対象部門として各部門を挙げられていますが、(4)においては、電力だけの排出係数が明記されていますので、電気だけではなく、灯油やガスなどの排出係数もそれぞれ明記し、(3)に統合すればいいのではないかと思います。

また、3ページでは、産業の部門別にグラフ化しているのに対し、5ページでは一次エネルギーがグラフ化されているように思いますので、合わせるのであれば、空調、照明などのライフスタイル別にグラフ化する方がいいと思います。

事務局

まとめ方について、石川委員のおっしゃるとおり統一した形で変更したいと思います。

永易委員

電力の使用量からも温室効果ガス排出量を計算していますが、太陽光や小水力などの再生可能エネルギーについては考慮されていますか。

事務局

再生可能エネルギーについては、電力の排出係数の数値に含まれてくると認識しています。また、将来推計についてのうち、電力の排出係数は基準年の排出係数を固定して用いています。

眞鍋委員長

温室効果ガスの排出量の計算はどのようにしていますか。

事務局

資料3の13ページに示していますように、個々の統計データをもとに市域の排出量を推計しています。

眞鍋委員長

資料3の中のグラフについて、市、県、国の数値か、できるだけ分かるようにしてほしいと思います。

秦副委員長

住民にとっては、5年ごとぐらいの目標を立てたほうがいいのではないかと思います。住民が、この計画をもって何をやるのかがわかるような計画案にしていきたいと思います。

事務局

具体的な施策については資料4において提示しています。

河合副委員長

大企業については、排出量の公表制度があるということでしたが、中小企業については、把握することはできますか。

事務局

中小企業は、民生業務部門に入ったり、産業部門に入っていたりと業種によってさまざまですので、明確に分かれているわけではありません。よって中小企業の排出量だけを取り出すことは難しいと思います。

眞鍋委員長

それでは、次に資料4の説明を事務局よりお願いいたします。

<事務局より資料4について説明>

眞鍋委員長

先ほどの説明について、何か質問等はありませんか。

この施策をすべて実行したら、温室効果ガスの排出量はどれだけ減るのかわかりますか。

事務局

そこまで、算定できていません。

眞鍋委員長

目標達成のために、どの程度の取組みが必要か判断できますか。

事務局

判断できるものとできないものがあります。LEDなどの機器ごと単体ごとの削減量は明確であり、導入量もある程度把握することは可能です。削減目標を決める対策導入量の設定に対し、導入率も設定する。そこで整合をとることで、重点施策の目標と削減目標との整合を図りたいと思います。

秦副委員長

いかに評価のできる案を作成するかが大切であると思います。

永易委員

本市の計画ですので、新居浜市に特化したもの、新居浜らしさを取り上げてほしいと思います。

赤田委員

この会議を経てよりいいものができることを期待している。

山崎委員

市の特徴が現れている目玉を提案してほしい。また、中小企業に対する施策がどの程度できるかと注目しています。

資料4の1ページ：工業として「住友諸企業」と説明がある。温暖化の計画ということで化学工業について特筆していると思うが、非鉄金属製造業についても追記してほしい。

石川委員

重点施策候補案については、燃料（電気・油・LPG等）の何が減るのかを明記す

る必要があるのではないかと思います。また、産業部門において原単位の削減が目標であるので、原単位は掲載した方がいいのではないかと思います。

計画を立てた後は、評価することが重要であり、PDCAサイクルを守っていく必要があると思いますので、毎年の評価・点検・公表はしていくべきであると思います。

眞鍋委員

今後、市民一人ひとりの協力をどうしていくのかがまとめればよいと思います。

飯尾委員

この計画をいかに周知し、行動まで繋げていくのかが重要であると思います。

秦副委員長

新居浜らしさを出していくことと、具体的に、評価や効果を表すことが重要であると思います。また、広く市民の方に知っていただく必要があると思います。

河合副委員長

地球温暖化ということでテーマが大きく、どのような計画になるか曖昧であったが、会議に出席してみて、展望が見えてきた気がする。

眞鍋委員長

個人的には、耕作放棄地が増えてきていることに関心がある。新居浜は、農村ではないが、新居浜らしさとして、農地保全を明記してもいいのではないかと思います。

また、この計画では、市民と行政をつなぐシステムづくりができれば行動につながっていくのではないかと思います。

それでは、次回の策定定員会ですが、8月6日（月）午後1時30分から応接会議室で開催したいと思います。

委員の皆様には、長時間にわたりご討議いただき、大変ありがとうございました。第1回策定委員会は、これもちまして閉会いたします。